



令和7年度 長崎国際大学  
人間社会学部 健康管理学部 入学試験問題  
一般選抜A日程 (2/5)

国 語

(100点 60分)

注 意 事 項

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、22 ページあります。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マーク（●印）しなさい。

① 受験番号欄

受験番号（数字）を記入し該当する欄にマーク（●印）しなさい。  
正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

- 4 問題は、マーク選択式と記述式があります。

マーク選択式は、解答用紙の解答欄にマーク（●印）しなさい。

例えば 

|    |
|----|
| 10 |
|----|

 と表示されている問いに対して③と解答する場合は、次の（例）のように解答番号10の解答欄③の欄にマークしなさい。

（例）

| 解答<br>番号 | 解 答 欄 |   |   |   |
|----------|-------|---|---|---|
|          | ①     | ② | ③ | ④ |
| 10       |       |   | ● |   |

記述式の解答は、指定された解答用紙に記入しなさい。

- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 試験終了後、問題冊子は机上に残しておきなさい。





## 第1問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。なお記述式の問いは、記述式解答用紙に解答しなさい。

### 【著作権上の理由等の諸事情により非公開】

（中野 民夫 『ワークショップ―新しい学びと創造の場―』 岩波新書による）

問1 二重傍線部 a～d のカタカナに該当する漢字を、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

a イツタン

1

- ① 問題解決のタンシヨに就く
- ② 作品の出来栄えにカンタンする
- ③ 商品のタンカを計算する
- ④ 役割ブンタンを検討する

b ヒダイ

2

- ① 他社製品とヒカクする
- ② 論理がヒヤクする
- ③ 土にヒリヨウを混ぜる
- ④ ヒガンに墓参りをする

c セイタイ

3

- ① 薬剤へのタイセイが高い
- ② 気持ちをタイドに表す
- ③ 梅雨前線がテイタイする
- ④ 高層ビルをカイタイする

d ヤツカイ

4

- ① 患者をカイホウする
- ② 子ども時代をカイソウする

③ 問題のカイゼンに取り組む

④ 関係史料はカイクに等しい

**問2**

文中の空欄

A

B

に入る語として最も適当なものを、次の各群の①～④の中から一つずつ選ぶ。

A

5

B

6

A

① ところで

② むしろ

③ また

④ さらに

B

① たとえば

② しかし

③ すなわち

④ しかも

**問3**

文中には次の一文が抜け落ちている。これを文中の空欄「I」～「IV」のどの箇所に補えばよいか。最も適当なもの、次の①～④の中から一つ選べ。

7

人を励まし、カブけるエンパワメントの作用も、ワークショップでは自然に起きるのだ。

① 「I」

② 「II」

③ 「III」

④ 「IV」

問4 文中の空欄

C

に入る、次の熟語の反義語を、漢字二文字で記入せよ。

あ

人工

問5 傍線部1「このようなどてもシンプルな歓び」とあるが、これに**該当しない例**を、次の①～④の中から一つ選べ。

8

- ① 通学路の道端に咲いているタンポポを見て、春の訪れに気付いたときに感じる歓び。
- ② 日々の努力を重ねた結果、大会で実力を発揮し優勝することができたときに感じる歓び。
- ③ バスの車内で、乗客が隣席の幼児に微笑みかけている光景を目にしたときに感じる歓び。
- ④ 友人と一緒に満点の星空を眺めながら、時間を忘れて語り合うときに感じる歓び。

**問6** 傍線部2「健全な全体を維持しようという自然な反応」とあるが、これはどのような反応か。最も適当なものを次の①～④

の中から一つ選べ。

9

- ① 個々に独立した物体が世界を構成しているという世界観に基づき、一般システム論や東洋医学が見直されているように、人々の知恵や力を結集して環境問題などの地球規模の問題に取り組もうする反応。
- ② 分析的・機械的な世界観から有機的・全体的な世界観への転換を背景とし、環境問題などの地球規模の問題に対して個人による取り組みから集団による取り組みへと行動様式が変化しているという反応。
- ③ 一人ひとりが地球を構成する小さな細胞であると人々が自覚し、それぞれの知恵と力を持ち寄って他者と協力していく中で、環境問題などの地球規模の問題に対応する集団の力を高めていこうという反応。
- ④ あらゆるものは相互に関連し、依存しあう一つのシステムであるという世界観に基づき、環境問題などの地球規模の危機に対して問題意識を感じ、人々がそれを共有して協力し状況を改善しようとする反応。

**問7** 傍線部3「住民参加のまちづくりワークショップの興隆などは、まさにこのような『市民』活動や市民意識の活発化の動き

と呼んでいる」とあるが、これはどのようなことか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

10

- ① 住民参加のまちづくりワークショップが活発化している背景には、阪神淡路大震災でのボランティア活動への注目や特定非営利活動促進法の施行により、市民活動に対して社会的関心が高まっている状況が存在するということ。
- ② 住民参加のまちづくりワークショップが盛んになっていることは、行政に頼るのではなく自分たちの社会を自分たちで創ろうという意識の高まり及び、ボランティアやNPOなどによる活動の活発化と、互いに影響しているということ。
- ③ 住民参加のまちづくりワークショップが盛んに取り組まれていることは、自分たち一人ひとりが行動に自信と責任を持つてより良い社会を創ろうとする阪神淡路大震災以降のボランティアやNPOなど市民活動の結果であるということ。
- ④ 住民参加のまちづくりワークショップが流行していることは、行政を信用せず自分たちの社会を自分たちで創ろうという危機意識の高まりと、ボランティアやNPOなどによる市民活動に対する人々の信頼の現れであるということ。

## 問 8

本文の内容に合致するものを、次の①～④の中から一つ選べ。

11

- ① 筆者は、ワークショップの現代的意義は人や自然と関わる中で歎びを実感することができるとにあり、グループの相互作用の中で深刻かつ大規模な問題の改善に取り組むことにより、多様性と共生へのヒントを探ることもできると述べている。
- ② 筆者は、ワークショップの興隆の背景には、モノや情報への限らない欲望のヒダイ化と、分析的・機械的な世界観、ならびに自分たちのまちづくりを行政に依存する従来の風潮に対抗しようとする市民意識の高まりが存在すると述べている。
- ③ 筆者は、ワークショップの現代的意義は生きることの素晴らしさや勇気や希望を得ることにあり、知恵と力の関係の中から生じるという発見を得るために人々はボランティア活動やNPOなどによる市民活動に取り組んでいると述べている。
- ④ 筆者は、ワークショップの興隆の背景には、多様性を前向きに捉えて人々が互いに活かそうとする世界観が存在し、様々な個性や経験を持った個人が結集して団結力を高め環境問題などの地球規模の問題に取り組むべきであると述べている。

## 第2問

次の文章は、真保裕一の小説『ローカル線で行こう!』の一節である。地元鉄道会社の赤字路線再生を託され、新幹線の車内販売員から同社の社長に転身した篠宮亜佐美は、県庁から出向した副社長の鵜沢うぎさわや社員とともにイベントの企画会議を行っている。本文は、それに続く部分である。

本文を読んで、後の問い(問1～問8)に答えよ。なお記述式の問いは、記述式解答用紙に解答しなさい。

## 【著作権上の理由等の諸事情により非公開】

(真保裕一『ローカル線で行こう!』講談社文庫による)

問1 波線部ア、イ、ウの本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

ア 目算も立つ

12

- ① 利益も得られる
- ② 期待も持てる
- ③ 見当もつく
- ④ 計算もできる

イ 古参

13

- ① 長年在職している
- ② 年長者である
- ③ 古風な考えを持つ
- ④ 中高年世代である

ウ 背中をくすぐられた

14

- ① 気持ちが悪い
- ② 照れくさい
- ③ 嬉しい
- ④ 面白い

**問2**

文中の空欄

A

、

B

に入る語として最も適当なものを、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

A

15

B

16

A

① 受ける

② 授かる

③ 託する

④ 預かる

B

① 駆け引き

② 成り行き

③ 行く末

④ 取り引き

**問3**

傍線部1「そこが最大の売りですよ」とあるが、何が最大の売りであるのか、本文中の言葉を使って二〇文字以内で述べよ。

い

問4 傍線部2「君のことを誤解してた」とあるが、これはどのような誤解か。その説明として最も適当なものを、次の①～④の

中から一つ選べ。

17

- ① 元新幹線の販売員であった亜佐美は鶴沢に対し、公務員に鉄道会社の再生のための大胆な企画提案ができるはずがないと思込んでいたという誤解。
- ② 亜佐美は鶴沢に対し、ぶつきらぼうで何を考えているかわからない副社長が沿線住民の喜ぶ企画を発案するはずがないと見てびつていたという誤解。
- ③ 会社経営の素人である亜佐美は鶴沢に対し、自分を監視する役割として県庁からもりはら鉄道に派遣されてきたに違いないと警戒していたという誤解。
- ④ 亜佐美は鶴沢に対し、赤字路線を抱えるもりはら鉄道のイベントとして一日に四十万の損失が見込まれる無謀な企画を提案してきたと捉えたという誤解。

**問5** 傍線部3「鉄道が担うべき大切な役目を、大きくアピールしていける企画だと思う」とあるが、これはどのような企画か。

具体的な内容を一つ挙げ、本文中の言葉を用いて、二〇文字以上、四〇文字以内で述べよ。

う

**問6** 傍線部4「亜佐美は心強く思いながらうなずいた」とあるが、このときの亜佐美の心情を説明したものとして最も適当なもの、次の①～④の中から一つ選べ。

18

① 鶴沢からの大胆な企画提案に対し、当初は財務や警備の面から実現は不可能であるという社員からの意見が出されたものの、亜佐美が企画開催を断行したことより、徐々に他の社員も賛同の声をあげるようになったことで、社員総出の手作りでのイベントが成功するに違いないと確信する気持ち。

② 自分は会社経営の素人であるため心細さや疎外感を感じていたものの、県庁から出向してきた企画力のある鶴沢や、もりはら鉄道の経営や運行に携わる専門性の高い各部署の社員の存在を大きく感じ、社員間で率直な意見交換を行うことを通して、部下との信頼関係や会社への帰属意識が強くなる気持ち。

③ 一日四十万円の損失を伴う鶴沢からの大胆な企画提案に対し、最初は財務の面から難色を示す社員の反応が見られたものの、最終的には経理部員からの賛同を得られることができ、赤字路線を抱えるもりはら鉄道においても沿線住民を喜ばせるイベントを開催することができると安心する気持ち。

④ 鶴沢からの大胆な企画提案に対し、最初は財務や警備の面から難色を示す社員の反応が見られたものの、鉄道が果たすべき役割に沿った優れた提案として亜佐美が評価し企画開催を決定したことより、各部署の社員から賛成意見や前向きな提案が出される様子を見て、社員を頼もしく思う気持ち。

## 問7

傍線部5「賛同を得られるとは思ってもいなかったのか、鵜沢が戸惑い気味に社員を見回している」とあるが、この時の鵜沢の心情を説明したものととして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

19

- ① 反対意見が予測されるような自分が提案した大胆な企画に対し、社員から賛成意見やさらなる企画への提案が示されたことが想定外であったため、鵜沢はどのように対処していいか分からないと感じている。
- ② 実現不可能であると思われるような自分の企画提案に対し、社長の亜佐美から高く賞賛されるばかりか、他の社員からも賛同を得ることができ、鵜沢は全く想定していなかった結末に衝撃を受けている。
- ③ 自分が大胆な企画を提案したところで、社内での反対意見が出されて却下されるに違いないと予測していた内容に対し、社長の亜佐美から企画採用の決断がなされたことで、鵜沢は焦燥感に駆られている。
- ④ 沿線住民を喜ばせる企画提案を行い社長の亜佐美から高く評価されたものの、未だ社内には財務は警備の面から反対意見が根強く、社内の協力を得て開催することができらるかかと鵜沢は不安になっている。

**問 8**

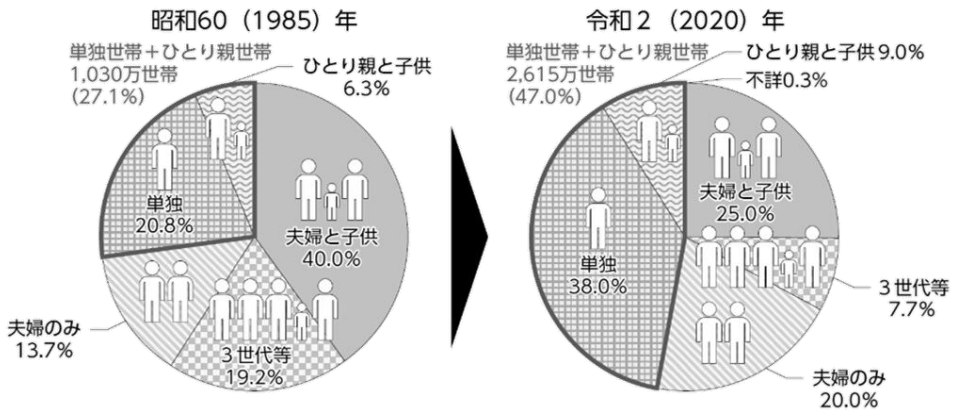
この文章の内容と表現の特徴についての説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

20

- ① 鉄道会社における企画会議における登場人物の会話のやり取りを比喩表現を多用しながら描き、その過程における亜佐美  
気持ちの変化に焦点化している。
- ② 会話を中心として登場人物の感情や人間関係の機微が表現されており、臨場感を読者に持たせるように社内での企画会  
議の様子が描写されている。
- ③ 登場人物の喜怒哀楽が豊かに表現されており、企画会議の描写を通じて、奮闘する鉄道会社に対する読者の共感を呼ぶよ  
うな工夫がなされている。
- ④ 全体を通して客観的な事実を淡々とした調子で記述されており、鉄道会社の置かれている苦境を描くことにより読者に対  
して問題提起している。

号 **21** **第3問** 資料Aと資料Bは内閣府の「令和六年度版 男女共同参画白書」から抜粋したものである。資料を見て次の各問（解答番号）に答えよ。

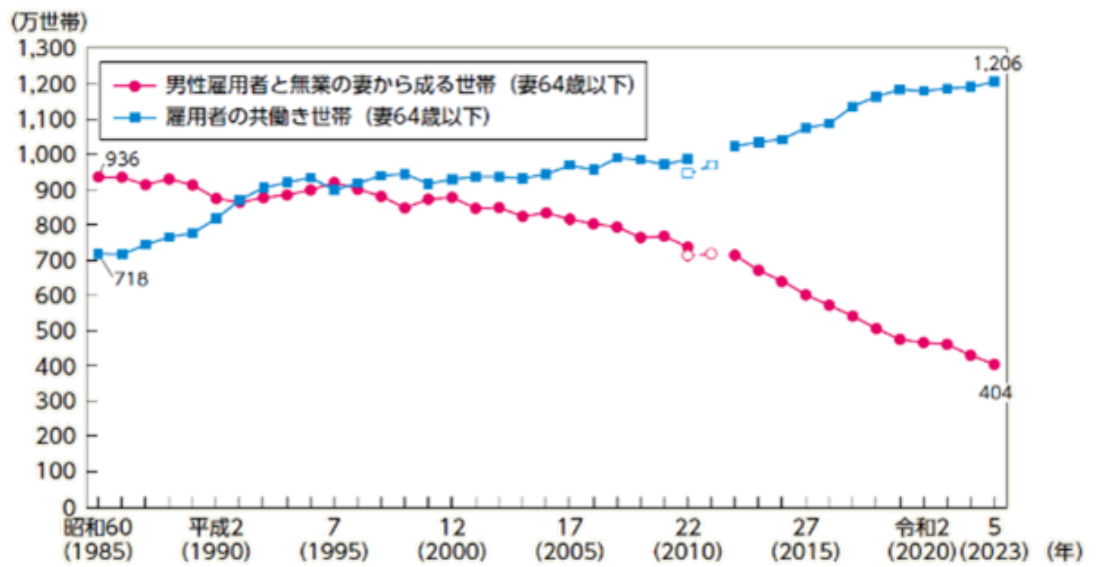
資料A **あ**



資料A・資料Bは、「令和六年度版 男女共同参画白書」5頁より抜粋・引用。

資料B

い



問1 資料Aと資料Bの **あ** と **い** には、それぞれ資料のタイトルが入る。二つのタイトルの組み合わせとして最も適当

なものを、①～④の中から一つ選べ。

21

- ① 「世帯数の変化」と「共働き世帯と専業主婦世帯数の推移（妻が六四歳以下の世帯）」
- ② 「家族の姿の変化」と「女性の就業者数の推移（妻が六四歳以下の世帯）」
- ③ 「家族の姿の変化」と「共働き世帯と専業主婦世帯数の推移（妻が六四歳以下の世帯）」
- ④ 「世帯数の変化」と「家族形態」との女性の就労状況の推移（妻が六四歳以下の世帯）」

問2 資料Aから読み取れることとして間違っているものを、次の①～④の中から一つ選べ。

22

- ① 昭和六〇年と比較すると、令和二年においては夫婦と子どもの世帯が一五ポイント減少しており、割合の多さは単独世帯と逆転している。
- ② 昭和六〇年と比較すると、令和二年においては夫婦のみの世帯の割合の順位は変わらず、多い方から第四位のみである。
- ③ 昭和六〇年と比較すると、令和二年においては三世代等の割合が大幅に減少し、ひとり親世帯よりも割合が低くなっている。
- ④ 昭和六〇年と比較すると、令和二年においては単独世帯の割合が大幅に増加し、割合の順位は多い方から第一位である。

**問3** 資料Bから読み取れることとして間違っているものを、①～④の中から一つ選べ。

23

- ① 男性雇用者と無業の妻から成る世帯と、雇用者の共働き世帯の数が逆転した時点は、平成二年頃と平成七年頃の二回である。
- ② 令和五年における男性雇用者と無業の妻から成る世帯と、雇用者の共働き世帯の数の開きは、平成一二年頃より年々大きくなっている。
- ③ 平成七年頃から平成一七年頃までの期間においては、雇用者の共働き世帯の数は概ね横ばいで推移している。
- ④ 昭和六〇年と令和五年を比較すると、男性雇用者と無業の妻から成る世帯の数は三分の一以下に減少している。

問4 資料Aと資料Bから読み取れることとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

24

- ① 単独世帯、ひとり親世帯の割合は昭和六〇年に比べて令和二年において二倍以上に増加しており、男性雇用者と無業の妻から成る世帯は昭和六〇年に比べて令和五年において減少している。
- ② 夫婦と子供の世帯の割合は昭和六〇年に比べて令和二年において半分以上に減少しており、男性雇用者と無業の妻から成る世帯は昭和六〇年に比べて令和五年において減少している。
- ③ 夫婦と子供の世帯、三世代等世帯の割合は昭和六〇年に比べて令和二年において減少しており、雇用者の共働き世帯は昭和六〇年に比べて令和五年において増加している。
- ④ 割合が最も多いものは昭和六〇年においては夫婦と子供の世帯、令和二年においては単独世帯であり、雇用者の共働き世帯は昭和六〇年以降、増加の一途をたどっている。